

第2号様式（第6条関係）

戸田市中小企業振興会議提言への回答書

戸田市中小企業振興会議 御中

戸田市長 菅原 文仁 印

令和元年5月28日付けで、貴会議より提言いただいた内容について検討を行ったところ、下記のとおりとなりましたので、戸田市中小企業振興会議提言処理要領第6条の規定に基づき回答します。

記

提言テーマ	戸田市における賑わいのあるまちづくりについて 戸田市の CSR 認証制度について
回答の要旨	<p>1 戸田市における賑わいのあるまちづくりについて</p> <p>(1) 彩湖・道満グリーンパークの魅力拡大</p> <p>戸田市にはスポーツやドッグラン、草花の観察を楽しめる広大なエリアを持つ彩湖・道満グリーンパークという非常に魅力的なコンテンツがあります。これまでのバーベキュー利用者は、器材や食材等を各自で持参する必要がありましたが、今回「手ぶらでバーベキュー」を導入することで、他の目的で訪れていた客層を取り込み、これまで以上に気軽に立ち寄れる場所にできると考えております。本市ならではの魅力のある事業となるよう、これから取り組んでいきます。</p> <p>「手ぶらでバーベキュー」の導入については、公益財団法人戸田市水と緑の公社の事業として、今年度導入をするスケジュールで動いており、令和元年11月2日より「彩湖・道満グリーンパーク BBQ ガーデン」として開業する予定で告知活動もおこなってまいりました。</p> <p>「BBQ ガーデン」の運営内容については、食材も含んだセットプランとしてお手軽立食コース、スタンダードコース、プレミアムコースなど10種類近くのコースを用意して、多様なニーズに応えられるようになっております。専用ホームページを作成しており、WEB サイト、電話等で注文を受け付ける予定です。</p>

しかし、彩湖・道満グリーンパークが10月に襲来した令和元年台風19号により冠水した影響で閉鎖されたため、開業は見送り、「BBQ ガーデン」の営業開始の見通しは立っていないところです。

彩湖・道満グリーンパークは荒川第一調節池として、水害を防ぐ調節池としての本来の役割を果たし、荒川の越水を未然に防ぐ効果を発揮しました。

開業に向けて準備を進めて来たところで非常に残念ではありますが、まずは、彩湖・道満グリーンパークの営業再開に向けて全力を注いでいるところでもあります。

今後の管理運営方法については、需要数を見て食材を市内事業者から仕入れるなど市内経済活性化に繋がるような研究を進めながら、「BBQ ガーデン」の定着を図ってまいります。また、利用者の声を聞きながら運用を進めていく中で、本市ならではの魅力を出せるように検討をしていきます。

(2) サイクリングの活用

本市ではサイクリングを楽しめる環境が整っておりますが、市内外に十分に魅力をアピール出来ているとは言えないため、さらなるPRの充実と魅力アップを図っていきます。

○まず、自転車レーン整備については、道路河川課において、路側帯のカラー化事業を進めているところです。

令和元年度に整備をおこなうのは、「北大通り」の笹目二丁目（西）交差点から新大宮バイパスの北大通り交差点までの間、「美笹西通り」の美女木六丁目交差点から笹目六丁目交差点までの間です。

令和2年度に整備をおこなうのは、「美笹西通り」の美女木六丁目交差点から北側部分でさいたま市との境付近までと、道満（東）交差点から彩湖・道満グリーンパークまで、笹目六丁目（西）交差点から新大宮バイパスの下笹目交差点などとなっております。自転車利用者が通行しやすくなるよう、毎年着実に整備を進めているところです。

案内標識等設置については、まず自転車から見やすい案内看板であることが前提となります。これから、利用者に分かりやすい案内標識等を作っていけるよう、関係各所と調整しながら、検討を進めていきます。

○戸田市のサイクリングロードは、埼玉県で紹介されているとおり、魅力的なコースがあります。埼玉県で紹介されているサイクリングロードとは異なる魅力的なコースのPRをするために、観光雑誌るるぶを刊行し、令和2年3月に市内で広報と共に全戸配布する予定です。るるぶの中にサイクリングマップを掲載する予定で調整しております。

まずは、戸田ボートコースを含んだサイクリングコースや、彩湖・道満グリーンパークを含んだサイクリングコースを想定しております。サイクリングマップでは市内の名所や商店等も含みつつ、魅力的な内容となるよう調整をしております。

スタンプラリーやスイーツめぐりについては、研究を進め、魅力的な企画を提案できるように考えていきます。

民間の事業者の力も活用しながら、サイクリングの途中で立ち寄れて、インスタグラムで映えるような写真が撮れる店の紹介など、幅広い層へアピールできるよう取り組んでいきます。

(3) 新たな地域ブランドの確立

○「TODA HONEY」についてはこれまで関係者の商品開発の努力と事業活動により、戸田ブランド商品として発信されてきました。引き続きブランド力をあげていきたいと考えています。

しかしながら「TODA HONEY」の事業発展については、新たな場所で養蜂をおこなうことが難しいため、これからすぐに採蜜量を増やすことができないと思われれます。

彩湖・道満グリーンパークで養蜂が出来ればいいのですが、様々な規制や、荒川の調節池としての機能も踏まえ、すぐに実施するのは難しいのが現状です。

提言をいただきましたように、「花いっぱい運動」の連携など、他事業とのコラボレーションなども踏まえて、「TODA HONEY」のPRをおこなうなど、さらに魅せ方を工夫することでブランド力をあげていきたいと考えています。

○本市には戸田ボートコースがあり、これまでも「ボートのまち」としてPR活動をおこなってきたところです。

戸田ボートコースとの市民との関わりを増やす取り組みとして、これまでに体験教室や親子教室などのボート教室、ボート競技観戦ガイドツアー、市立艇庫の設置、ボート学生と地域住民との交流企画、イケチョウ貝を活用した水質浄化などの活動などをおこなってきました。

また、来年には東京2020オリンピック・パラリンピックが開催され、2020年7月には聖火リレーが戸田市へとやってきます。それに併せて、戸田市を発信するイベントとしてオリンピック・パラリンピックとボートを絡めた企画を検討しております。

これまでの地道な活動と、これからのイベントがボートに対する市民の愛着心を向上させていくものと考えております。

優良推奨品の魅力アップについては、戸田ブランド委員会でも新しい商品を開発していくことが必要ということで話し合いがおこなわれており、戸田市内でビールを作れないかなどのアイデアも出ています。また、ブランド力アップや認定商品のブラッシュアップなどについても、戸田ブランド委員会でより一層の議論をお願いすると共に、事務局である商工会と連携をしていきます。

戸田ブランド商品を増やしていくために、これからも引き続き市内業者に呼びかけを続けていくと共に、新しい商品を生み出せる環境を整えていきます。

事業者への支援体制については、令和元年9月に戸田市内の約5000事業者へ実施したアンケートなどを基にして、必要とされている支援事業を分析し、よりよい支援体制を構築出来るよう研究していきます。

(4) 行政内及び観光関連団体の推進体制・連携強化

本市としても観光事業を推進し、観光振興を図ることは必要だと考えています。

戸田市フィルムコミッション事業により、官民間わず戸田市内の施設や街並みがロケ地などとして使われ、ドラマや映画などで発信されています。

本市には戸田橋花火大会や、彩湖・道満グリーンパークなど魅力ある地域資源がありますので、この資源を更に充実させていき、シティセールスと併せて戸田市の魅力を発信出来るように、特化した専門の部署の創設も含め検討していきます。

また、観光振興を図るために、市民や事業者、関係団体等とも引き続き協力しながら取り組んでいきます。

2 戸田市の CSR 認証制度について

社会的に規範や目標となるような市内の企業を認定する CSR 認証制度については、本市でも大変に重要であると考えています。

現在、本市における CSR の概念の確立、重きを置く分野、認定事業者に対する支援策について検討をおこなっているところです。小規模の事業者においても参加しやすい制度設計を目指しており、現在、要綱の整備を進めているところで、令和2年度内の制度実施に向けて進めていきます。

認証制度を開始するにあたっては、戸田市商工会等と連携し市内の事業者にも周知をおこなうと共に、CSRにより企業が社会的責任を果たしていくことが必要であること、また CSR を進めていくには従業員の目線に立って進めていく必要があることを事業者にも理解してもらうように努めていきま

す。

まずは市のホームページで認定事業者の掲載をおこない、その後、事業者を掲載したマップを作成していくなど、認証制度を取得した事業者のPRに努めます。

また、持続可能な開発目標として掲げられているSDGsについても、CSRと関わりが深いものでありますので、SDGsの普及についても併せて取り組んでいきます。

提言をいただいた内容を基に、本市の中小企業振興をますます進めていき、市内の経済を発展させていきたいと考えております。